



石川県 羽咋市

姉妹都市

はくい ぶらむ はくい

オンラインで表彰を受ける岸市長



温泉総選挙2020

千里浜温泉郷が総務大臣賞

3月9日、温泉総選挙2020の結果発表が行われ、「ちりはまホテルゆ華」「ユーフォリア千里浜」「休暇村能登千里浜」で構成される千里浜温泉郷が総務大臣賞を受賞しました。

省庁賞は、特に温泉地の魅力向上や活性化について、顕著な取り組みや功績があった温泉地に対して授与されるものです。

千里浜温泉郷では、地元小学生が考えた街歩きイベントを実施しており、その取り組みの中でICTを活用したことなどが、総務大臣賞の授与に至る評価ポイントとなりました。

藤岡市の皆さんも、羽咋市へお越しの際にはぜひ千里浜温泉郷へお立ち寄りください。

教えて！消費生活

「劇場型勧誘」に注意！

Q 知らないA社から「市内にB老人ホームができる。入居したい人がいるが市民しか権利を買えず困っている。迷惑をかけないので名義を貸してほしい」と言われ承諾した。その後、B老人ホームから「名義貸しは違法行為だ。100万円を払えば名前を消す」と言われた。どうしたらよいか。

A 「老人ホーム入居権」に関する劇場型勧誘と思われます。このような勧誘は、業者に成り済まし役割を分担して、「演劇」のように巧妙に仕組まれた勧誘を行うことから劇場型勧誘と呼ばれています。「名前を貸すだけ」などと説明があっても、後からさまざまな口実で金銭を要求されます。「名義を貸してほしい」「権利を譲ってほしい」などと持ち掛けてくる不審な電話は詐欺です。相手にせず、すぐ電話を切るようにしましょう。この場合のように名義貸しを承諾したことを不安に感じても、絶対にお金を払ってはいけません。郵送や手渡しでお金を渡してしまうと取り戻すことが極めて困難になります。このような場合は早急に警察や消費生活センターに相談してください。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.61

菊川英山の暮らしたまち、藤岡 ～上毛藤岡名勝寿語録～

菊川英山は天明7(1787)年、江戸の市ヶ谷で生まれました。父から絵の技法を学び、そして鈴木南嶺の門人となり、また葛飾北斎の門人であった友人を通じて北斎流の影響も受けました。20代には早くも「美人画は英山」と称される江戸一流の浮世絵師となりました。柔らかで上品な菊川派という画流の祖となり、多くの美人画を発表。しかし化政期を過ぎるとその絵は時流に乗れず売れ行きが振るわなくなり、江戸の人々から英山は忘れ去られていきました。

昭和13年に英山の墓が藤岡で発見され、晩年の英山は、娘とよの嫁ぎ先である上州藤岡町の呉服屋峯屋(屋号児玉屋)に身を寄せていたことが判明しました。新天地藤岡では、近隣の人々は優れた絵師として英山に多くの仕事を頼みました。寺社の絵巻物や絵馬などに優れた肉筆画が数多く残されています。

そして「上毛藤岡名勝寿語録」(新井玉世著作)

の版面は、英山が藤岡へ来て唯一の版行で78歳のときの作品です。藤岡の絹市の様子が描かれ、その繁栄を伝える貴重な資料となっています。絹市に集う人々の様子が生き生きと描かれています。繭の袋に描かれた商標が目立ち「三井越後屋」「大丸屋」「白木屋」など今でもなじみのある名称が見えます。筆力は衰えず、むしろ穏やかな力強さを感じさせます。わずか5年間を藤岡で過ごした英山でしたが、藤岡の文化に華やぎをもたらしました。



「上毛藤岡名勝寿語録(部分)」(個人蔵)

いまからできる！ 日常防災

Everyday disaster prevention

ラップが大活躍!!



災害時にラップが大活躍するのをご存じでしょうか。災害発生時には、水が使えないこともあり、食器も簡単には洗えません。そこで、ラップをかぶせた食器で食事をすれば、食器を洗わずに繰り返し使えます。紙皿を毎回使用するよりも、ごみの量を減らすことができます。また写真のように体に巻けば、体温を逃がすことなく保温できる防寒具になります。怪我をした際には、包帯代わりに使いましょう。気密性

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。



2枚の新聞紙を二つ折りにして、体に巻き、その上からラップを巻きます。



切り傷ができた時は、しっかりと止血をした後、ラップを巻きます。

が高いので、止血後の患部の保護に有効です。骨折の場合には、ラップを長めに引き出し、ラップの芯を添え木代わりにきつく巻くだけで固定することができます。

災害発生時には必要な物資が足りないことがあります。そんな時は何かで代用できないか考えてみましょう。ラップは家庭でも日常的に使用しますので、少し多めに保管してはいかがでしょうか。

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】